

令和2年11月11日 部長会議 会議録（要旨）

- 日 時 令和2年11月11日（水）午後1時30分～午後2時25分
- 会 場 市役所 応接会議室・庁議室
- 出席者 市長、副市長、教育長、総務部長、企画政策部長、市民環境部長、健康福祉部長、次世代支援部長、経済部長、経済部企業立地担当部長、建設部長、議会事務局長、教育部長、総務課長、総合政策課長、財政課長、秘書広報課長、秘書係長

1. 開 会

2. 市長訓示

- 「凡事徹底」で、基本的な挨拶や報告・連絡・相談といった当たり前のことを徹底し、市民の立場で、相手の気持ちを考えた丁寧な対応をお願いしたい。
- 職員一人ひとりが、自ら経営者になったつもりで、今、何をどういう目的でやっているのか、その効果はどういったものかということ、日頃から意識してほしい。
- 私自身は行政経験が足りないため、皆さんからいろいろなことをお聞きする中で、感じたことを率直に申し上げることもある。私は市民の感覚を大切にしてきた。よい形で千曲市政を前に進めることができるようお願いしたい。

3. 会議事項

（1）新型コロナウイルス感染症について【健康福祉部】

◆説 明【資料1参照】

- 新型コロナウイルスについて、長野県においては10月27日（火）以降、ほぼ毎日感染者が確認されている。長野圏域についても、感染警戒レベル2で「注意報」が発令され、県から「感染拡大防止のお願い」が出されている。
- 千曲市内における感染者の発生状況は、8月16日（日）に初めて確認され、11月8日（日）の報道発表までで28例となっている。
- 11月9日（月）までに、松本圏域、長野圏域、北信圏域が、それぞれ感染警戒レベル2に引き上げられた。引き続き注意喚起していくことを意思統一したい。

◆主な意見・質疑等

- 当面、大きな規制はないが、十分気をつけてほしい。職員についても自粛は求めないが、会食、飲み会を行う際は、大人数、長時間とならないようにするなど、節度をもってやっていただきたい。
- 東京等への出張は、やむを得ないものもあると思う。その場合は、十分気をつけてほしい。
- 事業者の対策の中に「新型コロナ対策推進宣言」を行うように努めるとある。市役所も事業所として宣言を行う必要はあるか。

【回答】 必要であれば相談する。

◆協議結果

○情報共有。

(2) 豚熱の市内養豚場での発生時における職員の出動について【経済部】

◆説明

○豚熱が仮に市内の養豚場で発生した場合において、各部課の職員にも出動をお願いせざるを得ない。防疫措置は県が主体となって行うことになっているが、市からも集合基地などの運営に携わってほしいということで、延べ 226 名が割り当てられている。集合基地は戸倉体育館が指定されている。本日の部長会議でご了解いただければ、明日、各部課長宛に依頼文書を発出したい。

○高病原性鳥インフルエンザについても同様のことが考えられる。既に国内で 3 例が発生している。人には影響しないとは考えられているが、豚熱同様に、もし発生した場合には、各部局に依頼することになるためご協力をお願いしたい。

◆主な意見・質疑等

○仮に発生した場合、24 時間以内に全頭殺処分、72 時間以内に埋設処分となる。この体制で一斉に 226 名が動くのか。

【回答】県からは一斉に防疫措置をするように連絡が来ている。

○勤務中であれば、226 名全員が行くわけにはいかない。最低限の動員で考えてほしい。

○具体的な仕事の内容は。

【回答】集合基地では、防護服の処分や職員配置の指示を行う。埋設処分等、防疫に伴う様々な仕事の分担が決められている。細かな作業内容については全庁へ依頼する際にお示ししたい。

○消防本部は話を承知しているか。

【回答】説明し承知していただいている。

◆協議結果

○了承。

4. 各部課長からの報告事項等（主なもの）

【総務部長報告】

○職員（会計年度任用職員を含む）の接遇について、十分気をつけるようお願いしたい。11 月 16 日（月）には、職員向けの接遇研修会を行う。若手職員や窓口担当職員の積極的な参加をお願いしたい。

【市民環境部長報告】

○市内の防犯灯の LED 化工事を進めており、今年度中に完了させる予定。

○マイナンバーカードの普及推進のため、八幡公民館において出前講座を行った。職員が出向いて申請のお手伝いをしたが、当日の申請は 11 名であった。またマイナポイントの登録は 4 名であった。今後、他の公民館でも行っていきたい。

◆主な意見・質疑等

○公民館だけでなく、他部署においても団体から開催の要望があれば相談して進めていただきたい

い。

【経済部長報告】

- 新型コロナウイルスの経済対策で、10月下旬に市民一人当たり2,000円の「がんばる事業者応援クーポン券」を世帯主宛に交付した。経済効果は約1億2,000万円と推計している。【資料2・3参照】
- PayPayの30%戻ってくるキャンペーンについては、千曲商工会議所と戸倉上山田商工会が事業主体となって、11月末まで現在行っている。PayPayのキャッシュレス決済は好調に推移しており、PayPay株式会社に確認したところ、キャンペーン開始前の10月1か月の決済金額は5,200万円であったが、11月1日（日）から8日（日）までの1週間で1億5,200万円となった。決済回数も増加している。前月比で決済金額が8.8倍、決済回数が17倍ということで、このキャンペーンをきっかけにして、千曲市のキャッシュレス決済が浸透してきている。当初は3億3,000万円の経済効果を見込んでいたが、5億円の経済効果が期待できている。【資料2・4参照】
- 今後に向けては、現在、キャッシュバックの制度設計を行っている。
- 第4回ワーケーション体験会を実施した。今年度から「信州リゾートテレワークモデル地区」に指定され、県の補助金を活用して、株式会社ふろしきやが体験会を行っている。旅館、ホテルを拠点としたテレワークと、ワーケーションを推進している。今回は総務省からも視察に訪れていただいた。体験会には延べ70人の参加があり、温泉と絶景を体験された。体験者の中には、大変気に入っていただき、もう1泊された方もいた。【資料5参照】
- 中心市街地活性化の一環として「路地裏ファンタスティック」というイベントが開催された。戸倉上山田温泉銀座通り商店街の皆さんと屋代高校の生徒が企画し、自主事業として行った。昨年は台風の影響で中止となったが、今年は天気も良く1,000の方が訪れた。電動自動車の試乗会やポニーの乗馬体験もあった。国や県で支援できないような小さなイベントが市内各地で開催されていると思うが、この例を参考に賑わいの創出を図っていきたい。【資料6参照】

◆主な意見・質疑等

- 昨年からは千曲市でもワーケーションに取り組んでいるが、大変に好評である。この流れを消さないように広げていきたい。今後は都会の企業に対して、市内の旅館、ホテルを利用していただけようアピールし、企業ぐるみで旅館、ホテルと提携していただき、ワーケーションを毎年できるような形にすれば固定客が増える。
- 千曲市役所においてもテレワークができるように考えていただきたい。

【副市長】

- 鳥インフルエンザの関係で、死んだ鳥には触るなど言われているように、人間に全く感染しないということではない。中国では人間への感染例がある。インフルエンザウイルスは変異する。再度、死んだ鳥に触らないよう啓発してほしい。特に、園児や児童・生徒に指導してほしい。
- 部長会議で何度も申し上げているが、前例踏襲を改めて見直してほしい。新しいことをやるにも関わらず、前例と同じ内容での起案が見られる。思考停止に陥らないようにし、前回の反省点を踏まえ、部課長と一緒に考えてほしい。

- 新しいことをやる場合には、事前にレクチャーしてほしい。起案文書をいきなり回されても内容が分からない。
- 小川市長からは「市民目線で」と訓示があった。市民の声をよく聞いてほしい。施策を打ち出す時には、どのように市民の声を聞いたのかチェックしてほしい。

【総合政策課長報告】

- 10月1日を基準日として行われた国勢調査について、11月10日（火）現在、千曲市全体の回収率は85.1%となっている。ただし、空き家や不在世帯、不要調査票の回収があるため、最終的には90%以上の回収率となる見込み。回収率100%を目指して調査をしているが、調査拒否等がある。最終的には、12月25日（金）に調査票を県へ提出することになっている。
- 国勢調査結果の速報値は、来年6月に総務省統計局から発表される予定になっている。
- 今回の国勢調査は、コロナ禍であるため、総務省からインターネットでの回答を推奨されていた。千曲市におけるインターネットからの回答数は8,985件であった。前回調査より、インターネットによる回答が進んでいる。

◆主な意見・質疑等

- 他自治体に比べて、回収率やインターネットによる回答率が特別高いとか低いとかはないか。
【回答】他自治体と同程度だと思う。

5. 閉 会